

**2025(令和7)年度沖縄県若年性認知症支援推進事業
若年性認知症本人交流会・本人ミーティング「同士の会」 報告書**

目的：若年性認知症の本人同士が自らの体験や希望、必要としている事を語り合い、自分達のこれからのよりよい暮らし、暮らしやすい地域のあり方を一緒に話し合う場づくりを目指す。

同士の会の特性

- ・ 孤立する県内の若年性認知症の本人同士で交流会を開催し、お互いの悩みについてのピアサポートの場とする。
- ・ 本人一人ひとりの意見に注目し、認知症施策に活用・反映されるよう意見をまとめる。

1. 日時：2025年5月23日(金) 12時～15時30分

【会場】 豊見城市内 カフェ

※本人同士で話し合い、開催日時・場所を決定しています。

2. 参加者数：合計 6名（内訳：本人 3名、支援者 2名、家族 1名）

4. 当日の様子

今回は「暑いからかき氷を食べたい」という声で、かき氷が人気のカフェで集うこととなりました。自宅から近い方は歩いて参加、もう一人は途中まで自分で歩いて来ましたが途中道迷いがあり、家族と連絡を取って開催場所へ送って頂き参加されました。さりげない家族のサポートもあり、全員が揃って、昼食とかき氷を堪能しながら会話が弾みました。本日は参加者全員の十代の頃のやんちゃな思い出、病気と診断された頃の生活や仕事の事について話題が出ました。軍雇用勤務していた頃の良き思い出も語られましたが、当初うつと診断されていた時期の体調の悪さ・仕事継続の辛さなど体験話が綴られました。“昔よりは社会は良くなっているけれど、利用できるサービスや通える居場所はもっともっと増えてほしい”という思いが語られました。



以上